

測定器の接着の仕方により違うと思うが、頸管の固さは、開大度の測定値に影響しませんか。

答弁 (横浜市大) 香西 義昭

頸管の硬軟による滑脱は考えられない。その厚薄が問題で、薄くなると滑脱しやすい。

143. Poseiro 効果について

(三重・山田赤十字) 橋本 武次

妊婦が仰臥位に寝ていると、収縮して固くなっている子宮は腹部大動脈下部と総腸骨動脈(多くの場合右側)を圧迫して、しばしばこの血流が阻止される。この現象を Poseiro 効果という。即ちこれらの動脈に機能的 *coarctation* を起こしていることになる。

羊水圧と共に大腿動脈と上腕動脈(或いは腹部大動脈)の直接血圧を記録すると、子宮が収縮している間だけ一侧の大腿動脈の収縮期血圧が著明に低下し、脈圧が消失する。これに反して上腕動脈や大動脈の血圧は正常と変らぬか、子宮収縮の間僅に上昇する。それ故子宮に圧迫された側の足背動脈の脈拍が子宮収縮の間だけ触知できない。

Poseiro 効果は 121例中20例(16.5%)に見られた。この現象は妊婦が仰臥位に寝ている間だけみられるもので、側臥位に変わると普通は消失してしまう。母体血圧が低い期間だけ側臥位にても僅かに見られた症例がある。母体の血圧が高いと子宮収縮が強くても出現しない。血圧が低い程現われやすい。又、これは子宮の後部に存在する動脈の局所的循環障害であり、全身的低血圧を引き起こす仰臥性低血圧症候群とは全く異なる。Poseiro 効果は児頭がまだ移動(Hodge の第Ⅰ又はⅡ平面)しており、子宮口がまだ閉鎖しているか、少し開大している程度の比較的分娩早期に出現する。分娩第Ⅱ期では見られない。

この部位を脈管撮影すると腹部大動脈下部と総腸骨動脈は収縮している子宮によつて圧迫され、圧迫側の総腸骨動脈への血流は完全に阻止され、他側の総腸骨動脈への血流は減少されていることがわかる。

この Poseiro 効果は子宮収縮中胎盤へ行く血流量を減少させ、胎児に hypoxia を起こす。それ故、これは胎仮死の最も重要な徴候と考えられる。胎児徐脈(type II dips)の発生機序の主要な因子の一つである。しかし、母体には何らの支障も与えない。

質問 (岡山大) 武田 佳彦

非常に貴重な syndrom を教えて頂いてありがとうございます。次の3点をお教え下さい。

1) この syndrom の起つてくる原因、何故第2期にはおこらないのか。

2) supine hypotension との間の相関は。

3) Type II dip がこの程度の obstruction で起るかどうかに非常に疑問に思っているがその点の御見解。

答弁 (山田日赤) 橋本 武次

(1) 分娩第Ⅱ期には胎児の先進部が骨盤内に入っていることと、子宮収縮中は子宮体部がもち上げるために分娩第Ⅱ期に Poseiro 効果が現れない。(2) Placentation により blood supply がこの Poseiro 効果にて減少される。(3) Poseiro 効果のある症例では Type II drip が出現しやすい。

討論 (日本医大第1) 鈴木 正勝

Poseiro 効果は大動脈にのみ影響しているように思われるが、Vena cava inf. に影響するのではありませんか。子宮内圧が50mmHg以上になると、そのみによつても胎児に徐脈が起ることを私達は見ています。子宮動脈には多くの場合があるので、一方の A. iliaca communis のみの閉塞ではそれほど胎盤循環には影響しないのではないかと考えます。

144. Nile-Blue による破水の診断

(東京・関東通信病院)

街風 喜雄, 三宅 正明, 北村 進司

大森 亮英, 阿美 健治, 岡村 佳介

稲富 道治, 田部井 徹, 藤田 環

我々は Kittrich 及び Brosens によつて考案された破水診断法を検討し、その手技が容易であり、しかも極めて精度の高い方法であるとの結論を得たのでここに報告する。

方法は無菌ピペットで後陰円蓋から分泌物を吸引し、その僅少をスライドにとり 0.1% Nile-Blue 水溶液を1~2滴滴下し、カバーガラスをかけ100倍前後で鏡検し、オレンジ色に染まる無核細胞が存在すれば破水陽性とする。Brosens によるとこれは胎児皮脂腺の脱落細胞中の中性脂質が Nile-Blue 色素で特有なオレンジ色を呈する為という。

検査対象は通常妊娠36週~42週とし次の6群に分けた。第1群の帝切時に穿刺した羊水では7例中7例陽性、第2群の臨床上、未破水確実なものでは15例中14例で陰性、1例は不明、第3群の人工破膜及び臨床上、破水確実なものでは27例中27例陽性、第4群の破水不明なものでは33例中30例はそれぞれ適中したが不適中3例は妊娠5ヶ月であつた。第5群の母体外陰皮脂腺のスミア